取扱説明書

マックスローター

㈱宮丸アタッチメント研究所

《はじめに》

この度は、お買い上げいただきまして、有り難うございます。
この取り扱い説明書をよくお読み頂いて、お買い上げの製品が
性能を発揮しかつ安全に作業をして頂くために、ご活用下さい。
なおこの説明書は、仕様変更などにより、お買い上げ製品と
イラストや説明内容が一部異なる場合が有りますので、
ご了承下さい。

[１] 安全に作業するために

安全な作業をしていただく為に、ご使用前に必ずこの説明書を、
よく読んでから、安全な作業を、行ってください。

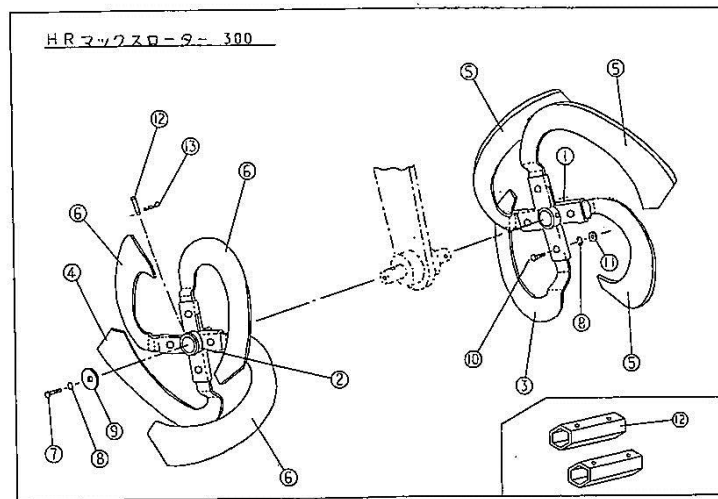
①過労、病気、薬物の影響、その他の理由で、作業に
　集中出来ない時は、運転しないで下さい。
②酒気帯びや妊娠中の人などは運転しないで下さい。
③服装は作業しやすいように、だぶついたズボンや上着等、
　回転部分に巻き込まれないように、整えて下さい。
④作業中は、回転部や作動部には絶対手足を、近付けないで、
　下さい。
⑤調整する時は、必ずエンジンを停め、停止しているか確認
　して、調整作業をして下さい。
⑥後進、旋回又は移動するときは、必ずロータリーのクラッチ
　を《切》にして停止を確認し、周囲の安全を確認してから行っ
　て下さい。
⑦機械を他人に貸す時、又は他人に運転させるときには、
　方法をよく説明し、使用前に取り扱い説明書を必ず読むよう
　に、指導して下さい。取り扱い説明書が分からない人や、
　子供には絶対に運転させないで下さい。

マックスローター
《取扱説明書》

このたびは、マックスローターをお買い上げいただきありがとうございました。
マックスローターの特長を充分活かす為にもこの『取扱説明書』をよくお読みいただき
正しい使用方法で作業して下さい。またこの説明書は大切に保管して下さい。

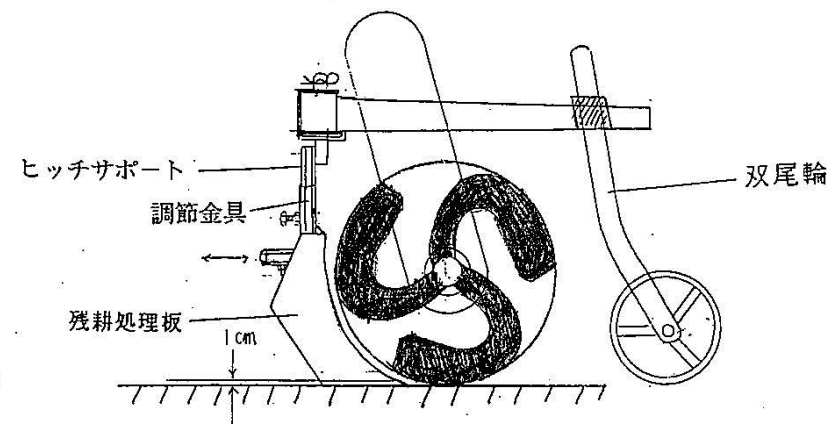
マックスローター

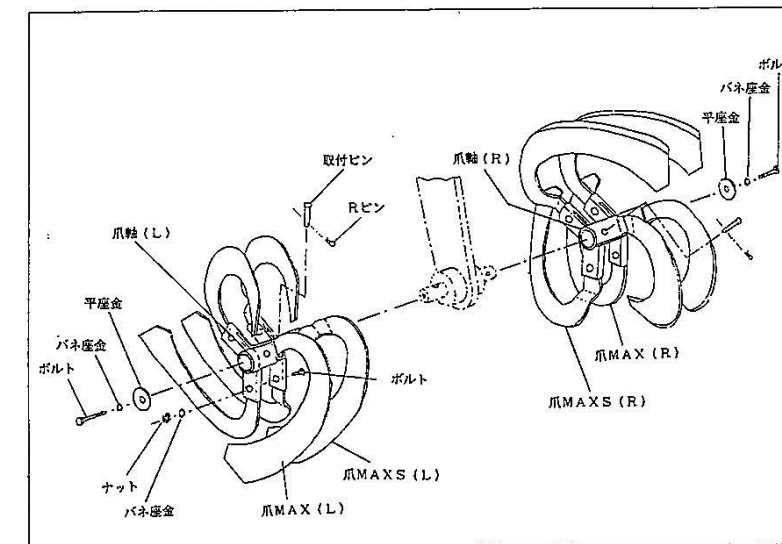
(1)取付け方法

中耕ロータリーの耕うん軸に、マックスローターを差込み、爪が同時打ち込みになるように
ピンでセットし爪軸の外より平座金、バネ座金、ボルトで確実に固定して下さい。
ロータリー軸の右側に㊨の爪軸を、左側に㊧の爪軸を取付けて下さい。

No	コードNo	部品名称	備考	個/台		
1		爪軸 (R)		1		
2		爪軸 (L)		1		
3		爪	MAXSR	4		
4		爪	MAXSL	4		
5		ボルト	M10×28	2		
6		バネザガネ	M10	10		
7		平座金		2		
8		ボルト	M10×23	8		
9		ナット	M10	8		
10		ピン	10φ×50	2		
11		Rピン	9φ	2		
12		ホイルチューブ		2		
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						

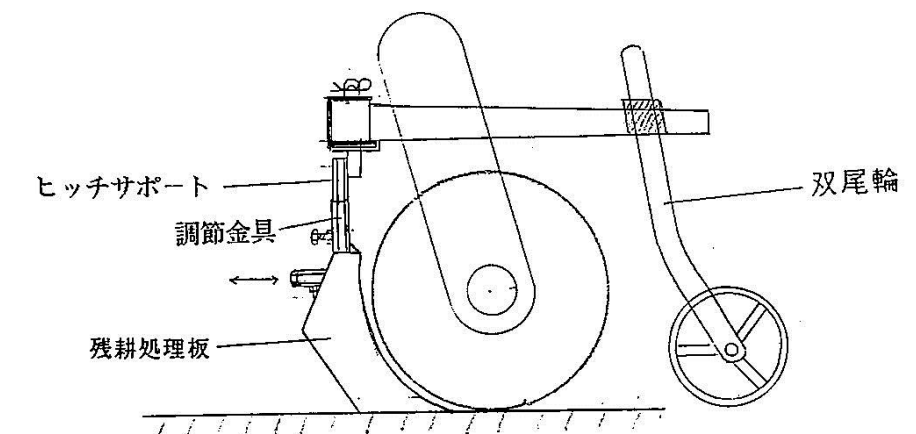
残耕処理板・双尾輪セット

(2)取付け方法

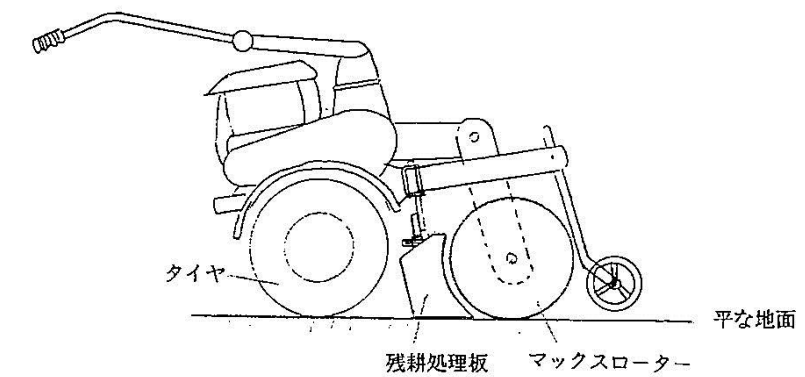
本機ヒッチピンをヒッチサポートに交換してロータリーをセット固定し、調節金具・残耕処理板
を取付け、調整して下さい。次にロータリ尾輪ホルダーに、双尾輪を差込み調整して下さい。

マックス土揚げセット組立説明書

（１）マックスローター取付方法

①中耕ロータリーの耕うん軸に、マックスローターを差し込み、
爪が同時打ち込みになるように、ピンでセットし、爪軸は外より
ザガネ、バネザガネ、締め付けボルトで確実に固定してください。
（ピンなしのタイプは、締め付けボルトで、確実に固定して下さい。

②本機ロータリー軸の右側に㊨の爪軸を、左側に㊧の爪軸を、
取り付けて下さい。

（２）残耕処理板、双尾輪セット取付方法

①本機ヒッチピンをヒッチサポートに交換して、ロータリーを
セット固定し、下より処理板を、差し込み調整して下さい。

②ロータリーの尾輪ホルダーに、双尾輪を差し込み調整して下さい。

（３）基本調整方法

①平な地面上で、マックスローターの最大径にあわせ、
残耕処理板を、平な地面上に合わせ、六角ボルトで、固定
して下さい。次に残耕処理板とマックスローターとの調整は
残耕処理板とマックスローター爪とがあたらない位置で
固定して下さい。（隙間は約１㎝位）

②本機エンジンが、停止している事を確認して、マックスローターを
空回しして、残耕処理板に、あたらないか確認して下さい。

（４）圃場での調整方法

両排土

片排土

①作業は前進作業で行なって下さい。
（ハンドル旋回して）
②まず最初に３ｍ位作業し、仕上がりと、残耕の状態を確認
して下さい。畦の仕上がり、深さは、双尾輪で調整して下さい。
浅い時には、双尾輪を上げ、深い時には下げます。そして
残耕の状態を見て、残耕が残り過ぎる時には、残耕処理板を
少し下げます。又、残耕処理板が、下がり過ぎて、つっこみの
状態になっている時は、上げて調整して下さい。